

A-1 学校研究

1 研究主題 お互いの良さを認め合い、自己表現できる子の育成 —— 個に応じた指導方法の工夫 ——

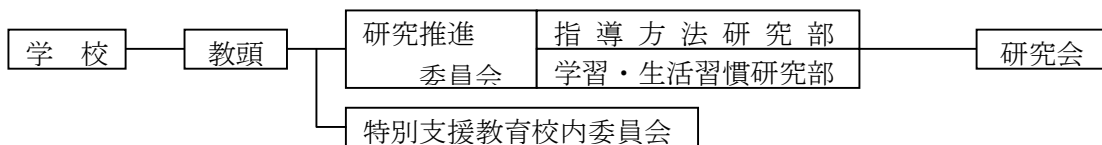
2 研究主題設定の理由

本校では、「自主性に富み、情操豊かで、心身共に健全な児童の育成」を教育目標に掲げ、「自主性に富む子」「明るく心豊かな子」「心身共にたくましい子」の育成をめざしている。

児童は、明るく素直で、指示されたことにはやり通す力はある。しかし、自分の思いや考えを表現していく力は、まだ十分とは言えない。したがって、自分なりの考え方で探求し、自分なりの方法で自己表現していく児童の姿を求めて、一人ひとりの良さや可能性を、学校生活全般の中で引き出し、自分の考えを持てる場や自己を表現する場を多く設定することにした。また、お互いの良さを認め合う中から、自分の存在の大切さを知り、生き生きと自己表現する子に育ててほしいと考える。

そこで、一人ひとりの児童に目を向けたいきめ細かな指導と日々の授業の改善を第一にとらえ、個に応じた指導を工夫した「わかる授業」を進めることで、お互いの良さを認め合い、自己表現できる子の育成をめざすこととした。

3 研究組織



4 研究内容

① 個に応じた指導方法の工夫・改善

個に応じたきめ細かな指導をし、「わかる」授業をするためには、子ども一人一人の特性を十分に理解し、それに応じた指導方法や指導体制の工夫改善を図ることが大切である。発展的な学習や補充的な学習を積極的に授業の中に取り入れながら、教材の工夫や開発に努めたり、課題別学習等の指導方法のあり方を工夫したりして、個に応じた指導方法の工夫・改善について研究をする。

- ・ 児童一人一人の興味・関心・個性・能力などに応じた指導の展開を構築する。
- ・ 基礎的・基本的な内容の学習(読み書き計算、自ら学ぶ意欲、思考力、判断力、表現力など)の徹底を図る。
- ・ 指導と評価の一体化を図る。(評価規準の有効活用と評価を生かした指導の改善)
- ・ 基礎学力調査の結果を分析し、指導法や教育活動についての改善・充実を図る。
- ・ 適切な学習目標を設定し、学び方やものの考え方を身につけることのできる授業や教材の改善を図る。

② 基本的な学習習慣と生活習慣の確立

子どもたち一人一人が意欲をもって学習に取り組めるように、学級経営の充実に努め、基本的な学習習慣の確立を図る。

- ・ 学ぶ楽しさや成就感達成感を得られるような取り組みを工夫する。
- ・ 相手に伝わる話し方を身につけ、深まりのある話し合い活動ができるような場を設定する。
- ・ 学習習慣を支える基本的な生活習慣の確立を図る。
- ・ 学習の準備段階として、朝の学習時間の有効活用を図る。